



事前準備ガイド

上流工程 要件定義・設計 生成AI活用研修 株式会社インフォメーション・ディベロプメント様向け

期限 **10月7日（水）まで**

所要 [20min] 前後

Day1 2026年10月8日（木）

事前準備の分担

貴社の手順書

ツールを導入する

Claude デスクトップアプリ、Git、Python、Node.js、LibreOffice を入れます。

このガイド

置いて、読ませて、確かめる

配布フォルダをデスクトップに置き、Claude に読み込ませ、環境チェックで確かめます。

当日、演習の途中で「変換ツールが動かない」「ファイルが開けない」となると、その演習はそこで止まります。3回の研修は前の回の成果物を次の回で使うので、1回の遅れがあとまで響きます。導入が済んだら、このガイドの6つの Step で、当日と同じ操作が通ることを先に確かめておいてください。

10月7日（水）までに済ませてください。 Step 4 の環境チェックで NG が残った方は、どの行が NG だったかを、貴社の研修ご担当者を通じてお知らせください。

Step 1 導入するものの確認

STEP 1

表の6項目がパソコンにそろっている

[3min]

なぜ要るか

研修では、Claude デスクトップアプリに頼んで、Markdown の文書を Word、Excel、PowerPoint に変換し、LibreOffice で開いて確かめます。1つでも欠けると、その演習の途中で止まります。導入の手順は貴社の手順書にあるので、ここでは何がそろっていればよいかだけを確認します。

項目	版	研修での使い道	どこで確かめるか
Claude デスクトップアプリ	Windows x64 の最新版	Code タブで演習をします。貴社から案内されたアカウントでサインインしておきます	Step 3
Git for Windows	最新版	Code タブを使うために要ります。研修で Git の操作はしません	Step 4
Python	3.12 系。python-docx、openpyxl、python-pptx を含む	変換ツールと環境チェックを Claude が動かしします	Step 4
Node.js	22 系の LTS	受講者が直接使うことはありません	Step 4
LibreOffice	最新の安定版	作った Word、Excel、PowerPoint を開いて確かめます	Step 5
ブラウザ	Chrome または Edge	現行画面と、演習で作るモックを開きます	Step 6

- 1

Windows の **設定** → **アプリ** → **インストールされているアプリ** を開きます。
- 2

表の6項目が一覧にあるかを、名前で検索して確かめます。Python は「Python 3.12」、Git は「Git」と出ます。
- 3

足りないものがあれば、貴社の手順書に従って導入します。

使わないもの

次のものは研修で使いません。入っていないなくても構いませんし、入っていても開きません。

もの	扱い
JDK、Maven	Java のコードを書いたり動かしたりする場面はありません
Tomcat などの Web サーバ	現行画面とモックは、HTML をダブルクリックで開きます
VS Code、WSL、ターミナル	操作はすべて Claude デスクトップアプリの Code タブで行います
Microsoft Office	Word、Excel、PowerPoint の形式のファイルは LibreOffice で開きます
PowerShell 7 系	Windows に最初から入っている 5 系のままで構いません

確認

- ☐ 表の6項目が、インストールされているアプリの一覧にある
- ☐ Claude デスクトップアプリにサインインできる

Step 2 配布フォルダの展開

STEP 2 エクスプローラーのアドレス欄が C:\Users\<名前>\Desktop\idup-handson になっている

[5min]

なぜ要るか

演習で読むヒアリングメモ、データ、テンプレート、変換ツールは、すべて配布フォルダに入っています。Claude はこのフォルダの中のファイルを読み、作ったファイルもこの中の **成果物/** に置きます。3回とも同じフォルダを使います。

手順

- 1 上のボタンから **idup-handson_20261008.zip** をダウンロードします。
- 2 エクスプローラーで **ダウンロード** を開き、ZIP を右クリック → **すべて展開** を選びます。
- 3 展開先の欄を **C:\Users\<名前>\Desktop** に書き換えます。 **<名前>** はサインインしている Windows のユーザー名です。 **参照** でデスクトップを選んでも同じです。
- 4 **展開** を押すと、デスクトップに **idup-handson** フォルダができます。
- 5 **idup-handson** を開き、アドレス欄の何もないところをクリックします。表示がパスの文字に変わるので、それを読みます。

OneDrive のデスクトップとの見分け方

会社のパソコンでは、デスクトップが OneDrive と同期されていることがあります。見た目は同じデスクトップでも、置かれている場所が違います。アドレス欄の表示で見分けます。

アドレス欄の表示	場所	扱い
C:\Users\<名前>\Desktop\idup-handson	個人のデスクトップ	このまま進めます
C:\Users\<名前>\OneDrive\デスクトップ\idup-handson 、 OneDrive - 会社名 を含むもの	OneDrive のデスクトップ	置き直します

OneDrive の中に置くと、Claude がファイルを書き換えるたびに同期が走ります。同期の途中のファイルを読んだり、競合したコピーができたりして、演習の途中でファイルが食い違うことがあります。

デスクトップが OneDrive にしかない場合は、展開先を **C:\Users\<名前>** にして、**C:\Users\<名前>\idup-handson** に置いてください。OneDrive の外なら、別の場所でも構いません。

Tips エクスプローラーでは、ZIP を展開しなくても中を開いて見られます。その状態では Claude がファイルを読み書きできないので、必ず **すべて展開** をしてください。

Tips 開いたフォルダの中にもう1つ **idup-handson** がある二重の状態になったら、内側の **idup-handson** をデスクトップへ移し、外側の空のフォルダは消して構いません。

確認

- ☐ アドレス欄が **C:\Users\<名前>\Desktop\idup-handson** になっている。OneDrive の外に置いた方は、そのパスになっている
- ☐ 開いたフォルダの中に、**資料** **現行画面** **テンプレート** **tools** **成果物** と **CLAUDE.md** が見える

Step 3 Code タブでの読み込み

STEP 3 Claude デスクトップアプリの画面の上部に idup-handson と出ている

[3min]

なぜ要るか

Claude は、開いたフォルダの中だけを読み書きします。フォルダを開くと、最初に **CLAUDE.md** を読み、そこから **AGENTS.md** の約束ごと（資料を書き換えない、根拠を付ける、など）を読み込んで、それを守って動くようになります。

手順

- 1 Claude デスクトップアプリを開き、上の **Code** タブを選びます。
- 2 環境が **ローカル** になっていることを確かめます。
- 3 **フォルダを選択** を押し、Step 2 で置いた **idup-handson** を選びます。

確認

- ☐ 画面の上部に **idup-handson** と出ている

Step 4 環境チェック

STEP 4

環境チェックの表の全行が OK になっている

[5min]

なぜ要るか

Python、3つのライブラリ、Git、Node.js、LibreOffice と、配布フォルダの中身がそろっているかを、配布フォルダの `tools/check_env.py` がまとめて確かめます。自分で実行する必要はありません。Claude に頼むと、Claude が実行して結果を表にします。当日と同じ手順で Claude にコマンドを実行させる練習も兼ねています。

手順

- 1 Code タブの入力欄に、次の文面を入れて送ります。
- 2 コマンドを実行してよいかを聞かれたら、`python tools/check_env.py`（または `py tools/check_env.py`）になっていることを見て **許可** を押します。
- 3 Claude が結果を表で返すので、全行が OK かを見ます。

Claude に送る文面

環境チェックをして

結果の読み方

環境チェックは、1行に1項目ずつ、OK か NG と、項目名、詳細を出します。NG の行には、すぐ下に直し方が出ます。Claude はそれを表にして返します。版の数字は人によって違います。

環境チェック結果

```
-----
[OK] Python 3.12.x
[OK] python-docx 1.x.x
[OK] openpyxl 3.x.x
[OK] python-pptx 1.x.x
[OK] Git git version 2.xx.x.windows.x
[OK] Node.js v22.xx.x
[NG] LibreOffice 見つかりません
    直し方: 貴社の手順書に従って LibreOffice の最新の安定版を入れてください
[OK] 配布フォルダの中身 そろっています
-----

確認用ファイル: C:\Users\<名前>\Desktop\idup-handson\tools\sample\確認用.pptx
LibreOffice で開けるか確かめてください。
```

この例では、LibreOffice だけが NG です。

最後に出る確認用ファイルを、LibreOffice で開くのが Step 5 です。

NG が出たときの直し方

NG の項目	直し方
Python	Claude が「python が見つからない」と返したら、「py で実行して」と送ります。どちらも見つからないときは、Windows の 設定 → アプリ → アプリの詳細設定 → アプリ実行エイリアス で python.exe と python3.exe をオフにし、Claude デスクトップアプリを開き直してから、もう一度送ります。それでも NG なら、貴社の手順書で Python の導入をやり直します
python-docx、openpyxl、python-pptx	貴社の手順書のライブラリ導入の項をやり直します。社内のネットワークの設定によっては、手順書にある方法でないと入りません
Git	Code タブを使うために要ります。貴社の手順書で導入し、Claude デスクトップアプリを開き直します
Node.js	貴社の手順書で導入します。受講者が直接使うことはありません
LibreOffice	既定の場所に見つからないときに NG になります。別の場所に入れた場合は、Step 5 でファイルが開ければ研修は受けられます。入っていない場合は、貴社の手順書で導入します
配布フォルダの中身	ZIP を展開し直します。二重のフォルダになっていないか、ZIP の中を開いたままになっていないかを Step 2 で見直します

確認

- ☐ 環境チェックの表の全行が OK。LibreOffice だけ NG の方は、Step 5 でファイルが開けること

Step 5 LibreOffice での表示

STEP 5 確認用.pptx を開き、スライドが1枚表示されている

[2min]

なぜ要るか

研修で作る要件定義書は Word、画面設計書とレビュー記録は Excel、レビュー会資料は PowerPoint の形式です。Microsoft Office のないパソコンで、これを LibreOffice で開けることを先に確かめます。

手順

- 1 エクスプローラーで **idup-handson** → **tools** → **sample** を開きます。
- 2 **確認用.pptx** を右クリック → **プログラムから開く** → **LibreOffice Impress** を選びます。一覧にないときは **別のプログラムを選択** から探します。
- 3 初めて起動したときに出る案内の画面は、閉じて構いません。

Tips プログラムから開く で 常にこのアプリを使って .pptx ファイルを開く に印を付けておくと、当日はダブルクリックで開けます。.docx と .xlsx も同じようにしておくと、演習中の手間が減ります。

開いた確認用.pptx は保存せずに閉じます。確かめるためのファイルなので、中身を変えずに残しておきます。当日うまく開けないときに、同じファイルで開き直して確かめられます。

確認

- ☐ スライドが1枚表示された

Step 6 現行画面の表示

STEP 6 KINTAI のメニュー（KIN010）がブラウザに出ている

[2min]

なぜ要るか

演習の題材は、架空の会社の勤怠・工数管理システム KINTAI の改修です。配布フォルダに入っている現行画面のモックを、ブラウザで開けることを確かめます。サーバは要りません。

手順

- 1 エクスプローラーで **idup-handson** → **現行画面** を開きます。
- 2 **index.html** をダブルクリックします。Chrome か Edge が開きます。
- 3 メモ帳など別のアプリが開いたときは、右クリック → **プログラムから開く** → Chrome か Edge を選びます。



確認

- ☐ KINTAI のメニューが出て、各画面へのリンクが並んでいる

最終確認

CHECK

10月7日（水）までに、ここがそろっていれば準備は完了です

- ☐ 表の6項目がそろい、Claude デスクトップアプリにサインインできる（Step 1）
- ☐ 配布フォルダが OneDrive の外にあり、アドレス欄で場所を確かめた（Step 2）
- ☐ Code タブで [idup-handson] を開いた（Step 3）
- ☐ 環境チェックの表の全行が OK（Step 4）
- ☐ 確認用.pptx が LibreOffice で開けた（Step 5）
- ☐ KINTAI のメニューがブラウザに出た（Step 6）

よくある質問

管理者権限がなく、ツールを入れられません

ツールの導入は、貴社の手順書と社内のご担当者の案内に従ってください。研修で使うパソコンは、管理者権限のある共通ユーザーで準備していただく前提です。

「環境チェックをして」と送ったのに、表が返ってきません

コマンドを実行してよいかの確かめで **許可** を押していないと、止まったままになります。確かめの表示が見当たらなければ、「**python tools/check_env.py**」を実行して、結果を表にしてください」と送り直してください。

Code タブでフォルダを選ぶと、idup-handson の中にもう1つ idup-handson があります

ZIP を展開したときに二重になっています。内側のフォルダをデスクトップへ移し、外側の空のフォルダは消してください。Code タブでは、移した内側のフォルダを開き直します。

デスクトップが OneDrive にしかありません

展開先を **C:\Users\<名前>** にして、**C:\Users\<名前>\idup-handson** に置いてください。当日の手順は、どこに置いても同じです。

配布フォルダの日本語のファイル名が化けています

Windows のエクスプローラーの **すべて展開** で展開し直してください。ほかの展開ソフトでは、日本語のファイル名が化けることがあります。

Mac でも受講できますか

研修は、貴社配布の Windows 11 のパソコンを前提にしています。配布フォルダも Windows 用です。

事前準備が期限までに終わりませんでした

どの Step で止まったかを、貴社の研修ご担当者を通じてお知らせください。当日は、Zoom に入った時点でチャットに書いていただければ、講師が確かめます。



上流工程 要件定義・設計 生成AI活用研修 事前準備ガイド

© Givery, Inc.

※題材のサンプル情報サービス株式会社と KINTAI は、研修のために作った架空のものです。